

◇友田保育園の保護者の皆様へ

平成30年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

子どもを主体的に考えられた保育環境が整えられています

当園はどの保育室もおもちゃや絵本が、子どもたちの手の届く低い棚に収納されていて、興味や関心を持った物に主体的にかかわることのできる環境になっています。また、ままごとコーナーにはキッチンセットを用意し、絵本を豊富に用意したコーナー、ブロックコーナーなど、年齢に合わせた備品・玩具が設定されています。子どもたちは、好きな遊びを選び、落ち着いて過ごしています。さらに、0～2歳児の保育室はオーガンジーの天蓋を工夫し、子どもたちがゆったり過ごせる環境にしています。子どもたちの環境は、年齢に合わせて整えられています。

地域支援に対して積極的にかかわっています

地域支援活動を「のびっ子」と称して幅広く実践しています。いろいろな活動が掲載されている機関紙を毎月発行し、自治会の協力を得て地域に回覧してお知らせをしています。年度初めの4月には年間の予定（七夕、夏祭り、運動会、焼き芋パーティなど）を掲載し、参加をよびかけています。また、子育て広場には、園庭開放、文庫の貸し出し、保育体験のご案内をしています。特に、施設内に「のびっ子ルーム」を作り、そこには、ボールプールや滑り台、絵本やおもちゃなどを各種用意し、親子で楽しく過ごせるよう配慮し、毎日来られるようにしています。

「年間食育計画表」を作成し、食育活動が充実しています

「年間食育計画」が作成され、年齢ごとの目標と具体的な活動が記載されています。例えば1歳児は、咀嚼を十分にしてい、一人で食べる意欲をはぐくむという目標で、食事の手洗い、挨拶、食具の使い方など、5歳児は3色食品分類表で食材の役割の理解し、食への感謝の気持ちを育てるなど、年齢に合わせた活動があります。園舎の脇には細長い畑を作り、夏はピーマン、トマト、なす、きゅうり、冬は大根、そら豆、ラディッシュなど、子どもたちを巻き込んで栽培しています。このほか、近隣の畑を借りてさつまいも、じゃが芋などを育てています。

さらなる取り組みが期待される点

事業継続計画について、検討されることを期待します

近年、日本各地で災害が発生しています。その災害による影響は保育園においても無縁ではありません。災害後、保護者が就労する際、災害の規模にもよりますが保育園が開園していれば、何の心配もなく職場に行けます。従って、園の事業継続は、行政の判断のもとに職員同士十分話し合っ、対策を講じておくことが求められます。具体的には、徒歩圏内あるいは自転車で来れる職員には事前に園の鍵を携帯してもらっておくとか、備蓄品の管理及び拠出の方法なども検討しておくことなどです。職員会議で話し合い、検討されることを期待します。

「入園のしおり」の内容を今一度点検し、必要不可欠なものを入れておくことをお勧めします

入園の際は、「入園のしおり」に基づいて保護者に説明をしています。当園の具体的な内容は、理念や保育方針、園生活をするにあたって（給食、連絡の取りかた、健康管理、非常災害発生の場合、園生活のスケジュール、持ち物、与薬についてなど）が記載されています。この入園の案内の説明に保護者が、同意したかどうか、そして、説明後に同意書をもっていただくことが肝要です。そのほか、感染症による病気の当園停止日数、苦情解決制度、個人情報保護など保護者にあらかじめ知っておいたほうが良いと思われる情報が記載されているものが多いようです。

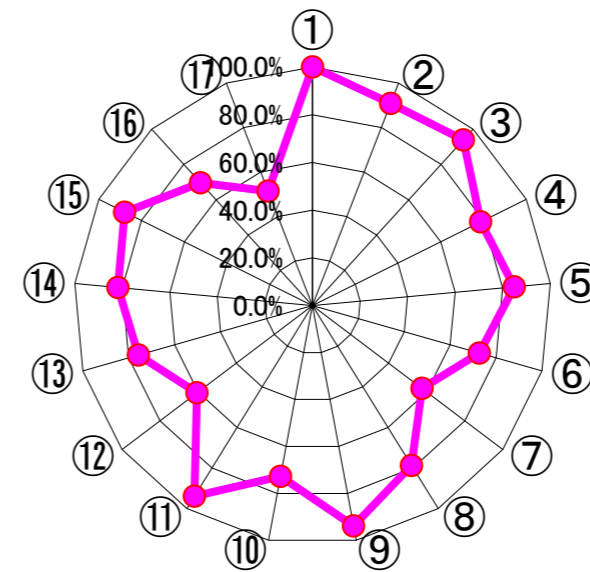
作成している人事考課表を有効に活用することを望みます

「友田保育園人事考課規定」という文書があります。そこには、考課の評定、評価調整など細かく記載してあります。そして、具体的な「考課評定書」として、仕事の評価、意欲・態度、職務遂行能力いずれも5項目、計15項目について5段階の自己評価、一次評価、二次評価があり、最終評価につなげるようになっていきます。これが現在のところ必ずしも昇給や昇格とは連動していない状況です。折角作成した考課表ですし、職員もこの考課表で自己評価をしていますので、有効に活用してはいかげしょう。今後、職員と話し合っ、いかれることを期待します。

利用者アンケート結果概要

実施期間：平成 30年8月1日～平成 30年8月15日

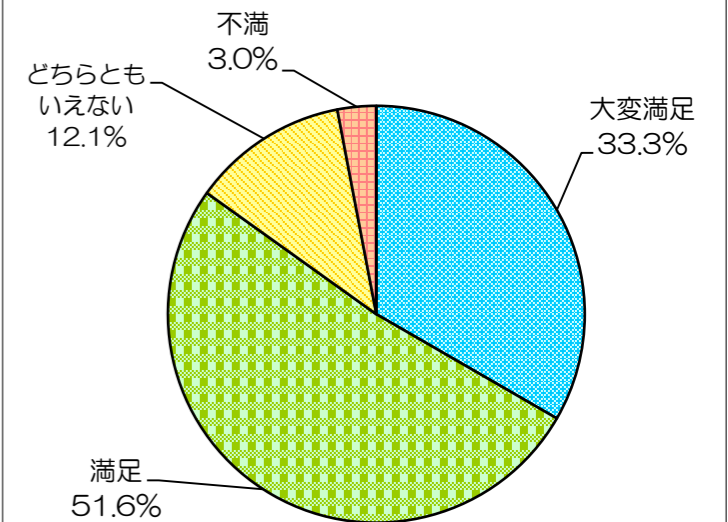
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに、約一か月かかります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

福祉サービス第三者評価の結果概要を公表いたします。保護者の皆様には、評価の一つである「利用者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。当園では、3年に1回、東京都認証の評価機関に第三者評価を受審し、サービスの向上に努めております。今回の評価結果を踏まえて、可能なところから改善に取り組みたいと考えております。なお、保護者の皆様には、今後も気が付いた点がありましたら役員並びに園長・職員までご意見をお聞かせください。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
（認証評価機関番号 機構05-149）

